

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年11月16日（月）～令和2年11月22日（日）〔令和2年第47週〕の感染症発生状況

第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.16人と前週（2.49人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.86人と前週（0.51人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.59人と前週（0.41人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



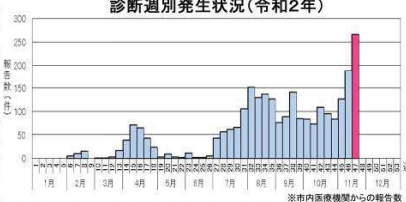
## マスクは正しく着用を！～新型コロナウイルス感染症～

現在、全国的に新型コロナウイルス感染症の報告数が急増しています。川崎市においても、令和2年第45週（11月2日～8日）に126件であった報告数が、第46週（11月9日～15日）は188件、第47週（11月16日～22日）は266件と2週間で大幅に増加しました。

新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐには、マスクの着用・3密の回避・手洗い・消毒など、基本的な対策を徹底することが重要です。

特にマスクの着用方法については今一度見直し、正しく付けて、お互いの飛沫による感染を防ぎましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況（令和2年）



### 正しいマスクの着用方法



### 基本的な感染対策



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所） 問合せ先 044-276-8250 令和2年11月25日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年11月23日（月）～令和2年11月29日（日）〔令和2年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.38人と前週（2.16人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週（0.86人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.41人と前週（0.59人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## 無症状の時期にも御注意を！～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、11月以降急増しており、令和2年第48週（11月23日～11月29日）は238件でした。前週の267件から横ばいではありますが、依然として200件を超える報告数で、このうち約半数に相当する100件程度は感染経路が明確には判明していません。

新型コロナウイルス感染症は、発症2日前から人に感染させる力があるといわれています。無症状の時期にも感染力がありますので、人と対面で接触する場合や不特定多数の人が集まる場所などでは、可能な限りマスクなどを着用し、感染を予防しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況（令和2年）



### 典型的な新型コロナウイルス感染症の経過



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所） 問合せ先 044-276-8250 令和2年12月1日作成



# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年11月30日（月）～令和2年12月6日（日）〔令和2年第49週〕の感染症発生状況

第49週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1,78人と前週（1,38人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0,70人と前週（0,78人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0,30人と前週（0,41人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

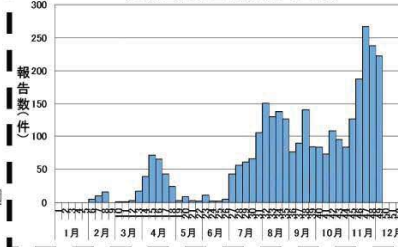


## 家庭への持ち込みを防ぎましょう！～新型コロナウイルス感染症～

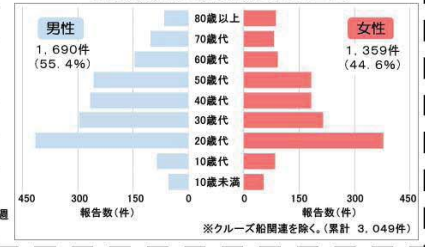
川崎市における令和2年第49週（11月30日～12月6日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は前週からやや減少し、223件となりましたが、3週連続で200件を超えています。クルーズ船関連を除く市内の報告数3,049件のうち、55,4%が男性で、特に20歳代から70歳代では男性に多い傾向がみられました。中でも、20歳代は男女共に報告数が多く、男性は415件、女性は378件にも上りました。これらの世代が職場や会食の場などで感染し、家庭に持ち込むことも多いようです。

大人数での会食や飲酒を伴う集まりなどは控え、大切な家族への感染を防ぎましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況（令和2年）



川崎市における新型コロナウイルス感染症の年齢階級別男女別報告数（令和2年）



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）  
 （問合せ先）044-276-8250  
 令和2年12月8日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年12月7日（月）～令和2年12月13日（日）〔令和2年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1,65人と前週（1,78人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1,24人と前週（0,70人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。  
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0,38人と前週（0,30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

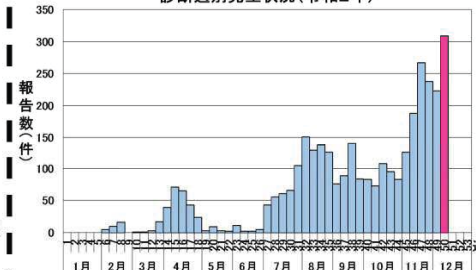


## 年末年始の帰省や旅行の際の注意点～新型コロナウイルス感染症～

現在、首都圏を中心に新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しています。川崎市においても令和2年第50週（12月7日～12月13日）の報告数は309件と前週より増加し、300件を超えました。

例年この時期には、年末年始の帰省や旅行などを計画される方もいらっしゃると思います。今年は感染症予防の観点から、可能な限り混雑を避けていただきますようお願いいたします。特に発熱等の症状がある方は、人の集まる場所へ出かけることは避けましょう。また、年末年始の休暇の分散取得や、帰省の延期なども是非御検討ください。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況（令和2年）



### 帰省や旅行の際の感染予防

- ・可能な限り混雑を避ける
- ・発熱等の症状がある方は、無理せず自宅で療養する
- ・休暇は分散して取得する
- ・帰省の延期を検討する

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）  
 （問合せ先）044-276-8250  
 令和2年12月15日作成



# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年12月14日（月）～令和2年12月20日（日）〔令和2年第51週〕の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発疹でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.27人と前週（1.65人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.86人と前週（1.24人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 突発性発疹の定点当たり患者報告数は0.65人と前週（0.38人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

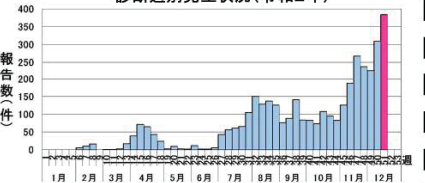


## 新型コロナウイルス感染症～年末年始の過ごし方～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和2年第51週（12月14日～20日）に384件となり、前週からさらに増加しました。  
 今年は感染を予防するため、カウントダウンなどのイベントはオンライン参加とし、初詣は混雑する時間帯を避けて出かけるなど、新型コロナウイルス感染症にかからない工夫をしていただくことが重要です。

また、新型コロナウイルス感染症は、初期には明確な症状がない場合もあります。軽い咳やのどの痛み等少しでも違和感を感じる場合は、人の集まる場所へ出かけることは避けてください。感染対策を心がけ、新しい年を元気に迎えましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況（令和2年）



### 行く年来年の感染予防



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）  
 （問合せ先）044-276-8250  
 令和2年12月22日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年12月21日（月）～27日（日）〔令和2年第52週〕及び令和2年12月28日（月）～令和3年1月3日（日）〔令和2年第53週〕感染症発生状況

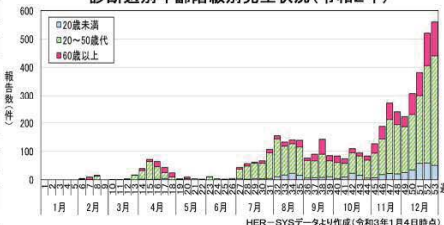
第52週及び第53週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発疹でした。  
 第52週の感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.81人と前週（2.27人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 第52週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.73人と前週（0.86人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 第53週は年末年始で多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

## 60歳以上の報告数が増加しています！～新型コロナウイルス感染症～

現在、新型コロナウイルス感染症の報告数は首都圏を中心に急増しています。川崎市においても、令和2年11月に200件を超えた報告数が、12月に入ってさらに増加し、第52週（12月21日～12月27日）に520件、第53週（12月28日～令和3年1月3日）に560件と、いずれも500件を上回る報告となりました。特に、第52週及び第53週は、60歳以上の報告数がそれぞれ114件、119件と、ともに100件を超えています。

高齢者は、他の年代と比べて新型コロナウイルス感染症が重症化するリスクが高く、致死率も高いため注意が必要です。各自がマスクの着用や手洗いなどの基本的な感染対策を徹底し、体調管理を十分に行って、高齢者への感染を防ぎましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別年齢階級別発生状況（令和2年）



### 新型コロナウイルス感染症の重症者・死亡者の割合

令和2年12月29日18時時点

| 重症者割合（％） |      |      |      |      |      |      |      |       |     |  |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|--|
| 10歳未満    | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 全世帯 |  |
| 0.0      | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.6  | 1.4  | 3.5  | 4.5  | 2.0   | 1.4 |  |

重症者割合：年齢階級別にみた死亡者数の入院治療等を要する者に対する割合

| 死亡率（％） |      |      |      |      |      |      |      |       |     |  |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|--|
| 10歳未満  | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 全世帯 |  |
| 0.0    | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.1  | 0.3  | 1.4  | 4.8  | 12.6  | 1.4 |  |

死亡率：年齢階級別にみた死亡者数の入院治療等を要する者に対する割合  
 厚生労働省HP「新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」より抜粋

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）  
 （問合せ先）044-276-8250  
 令和3年1月5日作成

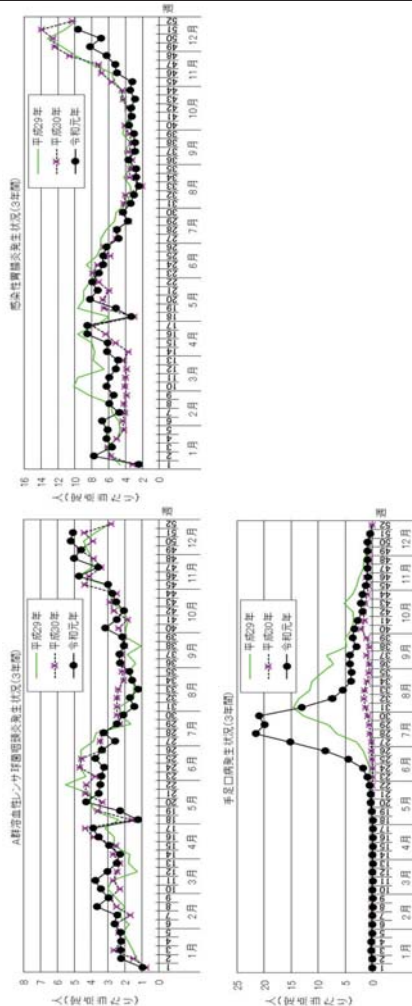
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ(令和2年1月)

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 感染性胃腸炎
- 手足口病



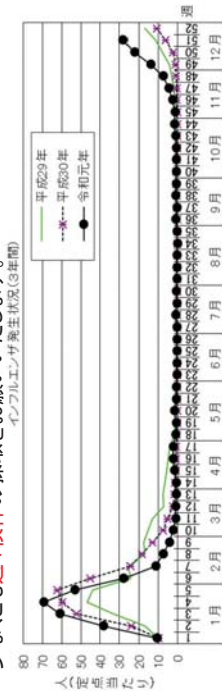
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年1月1日現在、**流行期**です。  
少なくとも**週1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

川崎市保健所感染症対策課 044-200-2343  
川崎市健康安全研究所 044-276-8641

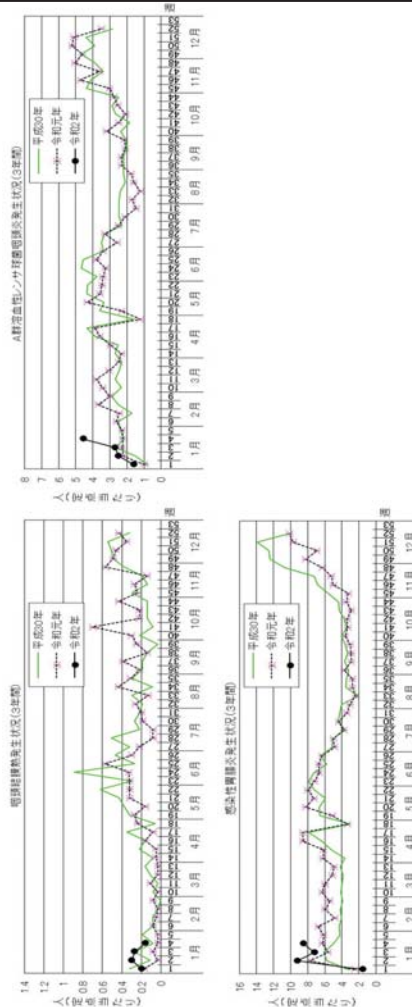
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ(令和2年2月)

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 感染性胃腸炎



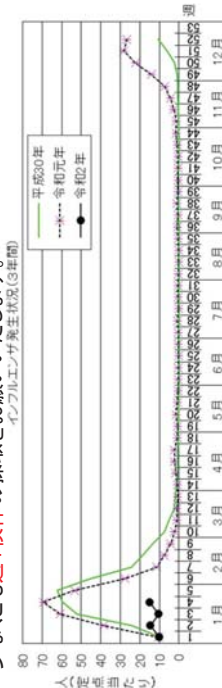
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年2月1日現在、**流行期**です。  
少なくとも**週1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

川崎市保健所感染症対策課 044-200-2343  
川崎市健康安全研究所 044-276-8641



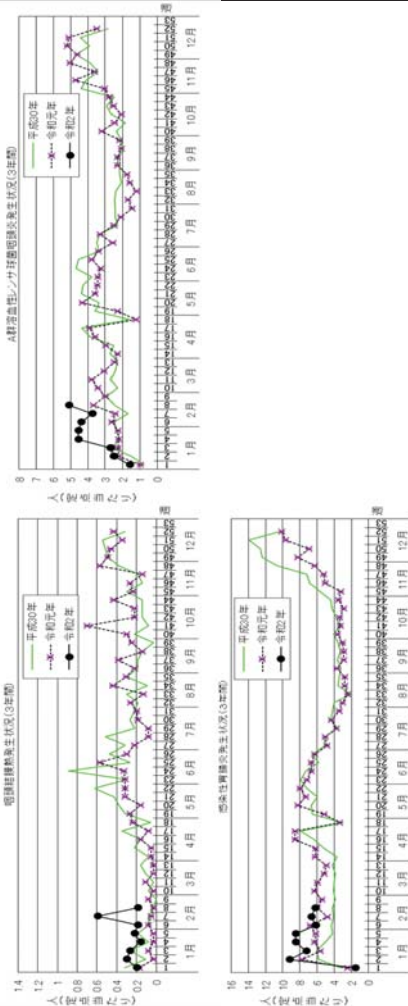
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ（令和2年3月）

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 感染性胃腸炎



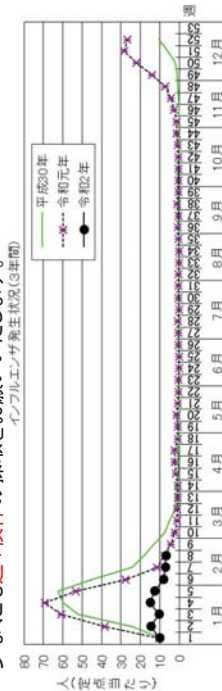
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年3月1日現在、**流行期**です。  
少なくとも**週1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

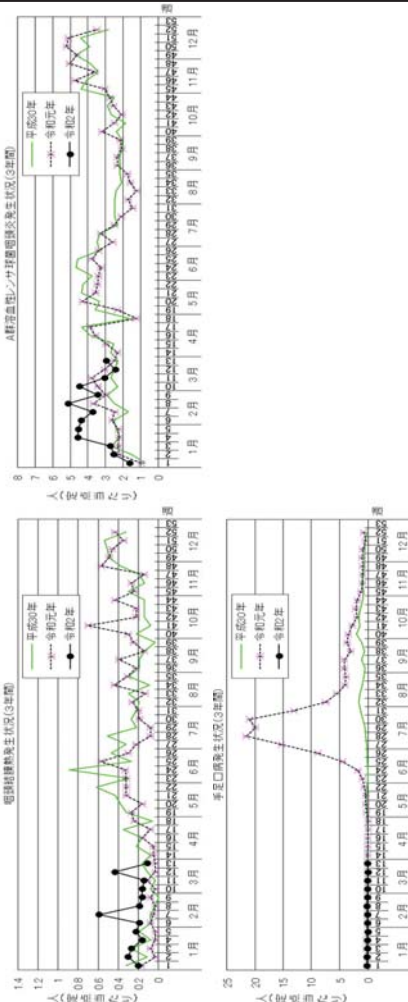
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ（令和2年4月）

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 手足口病



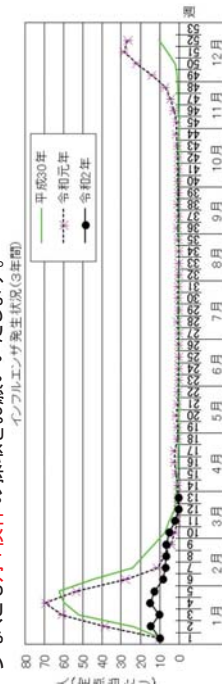
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年4月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

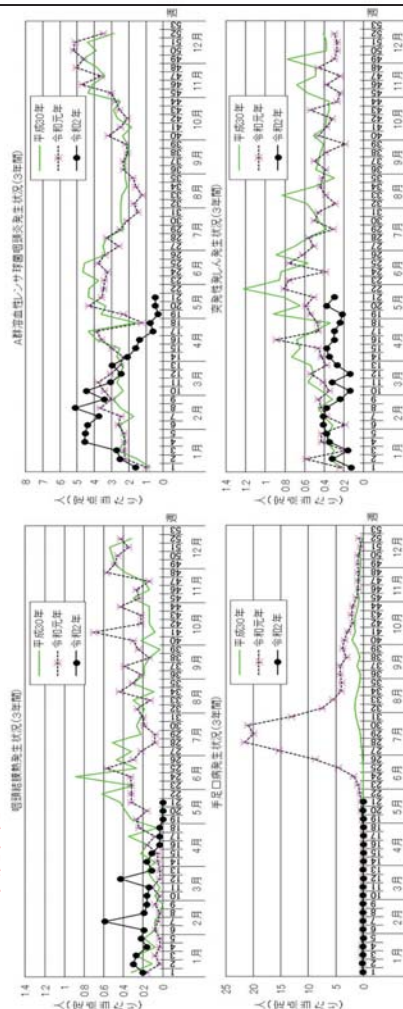
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ（令和2年6月）

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 手足口病
- 突発性発しん



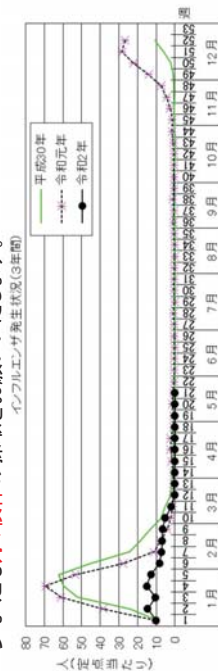
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年6月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いいたします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

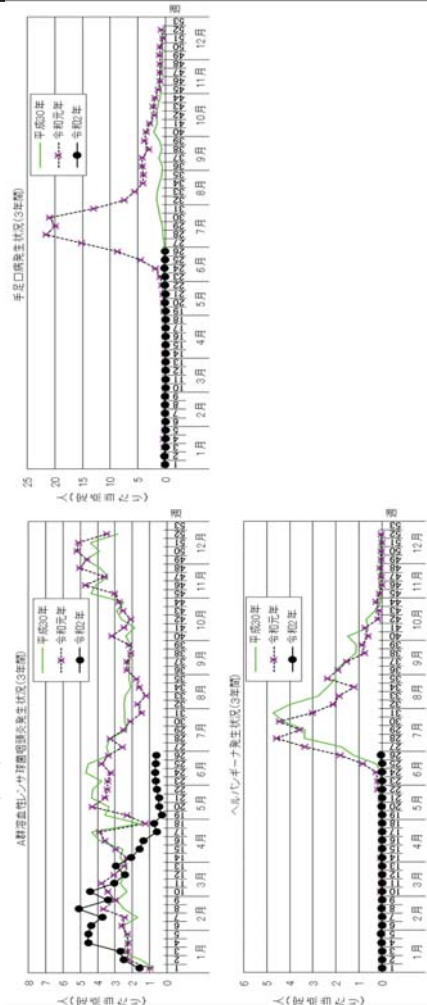
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ（令和2年7月）

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 手足口病
- ヘルパンギーナ



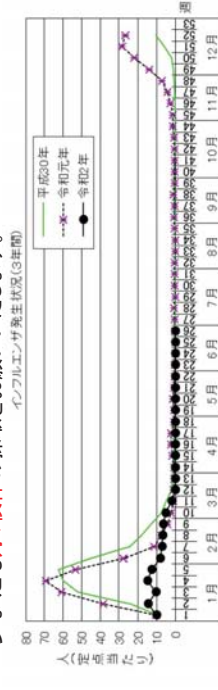
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年7月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いいたします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

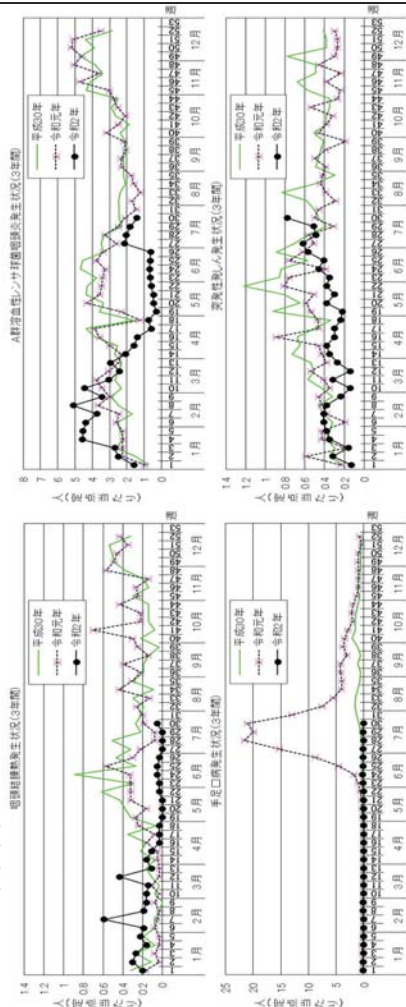
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ（令和2年8月）

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 手足口病
- 突発性発しん



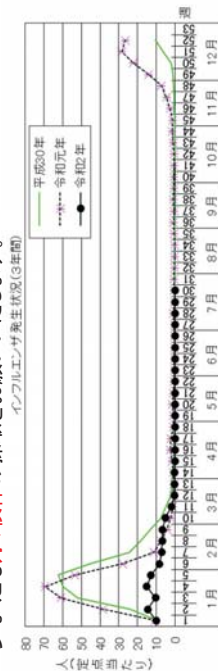
#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

### インフルエンザ

令和2年8月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

川崎市保健所感染症対策課 044-200-2343  
川崎市健康安全研究所 044-276-8641

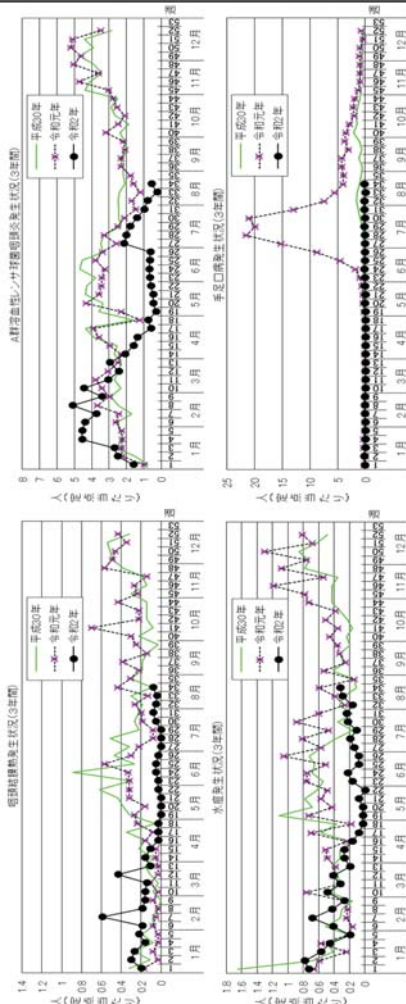
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ（令和2年9月）

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 水痘
- 手足口病



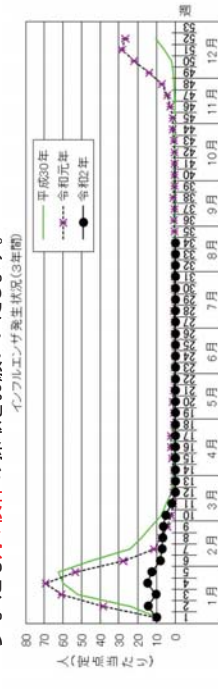
#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

### インフルエンザ

令和2年9月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

川崎市保健所感染症対策課 044-200-2343  
川崎市健康安全研究所 044-276-8641



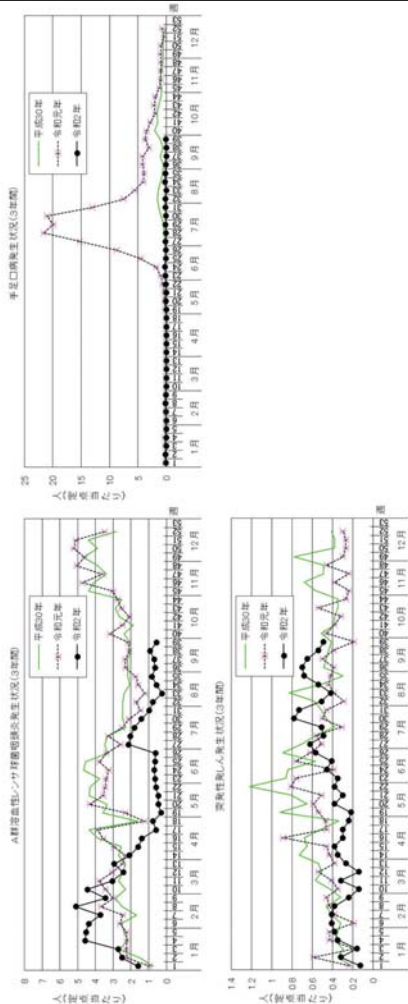
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ(令和2年10月)

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 手足口病
- 突発性発しん



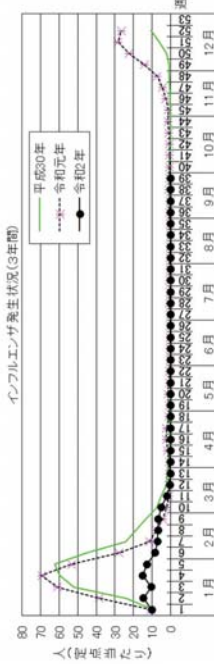
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年10月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

川崎市保健所感染症対策課 044-200-2343  
川崎市健康安全研究所 044-276-8641

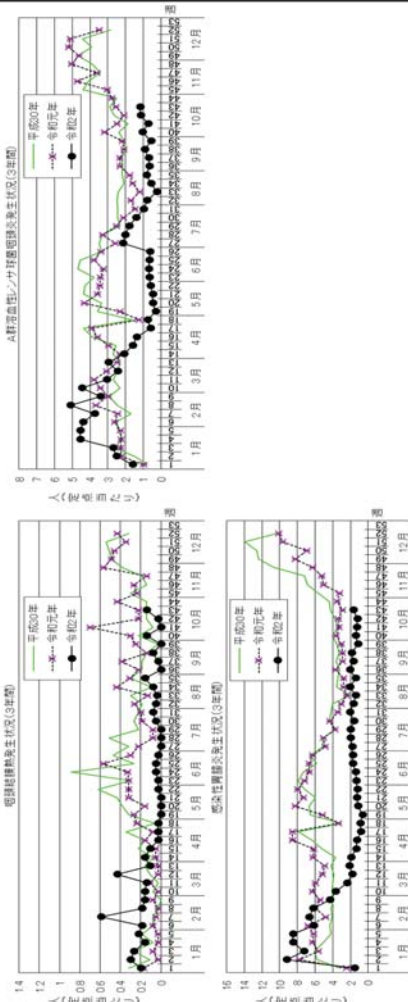
小児科病原体定点医療機関の皆様

## 優先採取疾患のお知らせ(令和2年11月)

### 小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 感染性胃腸炎



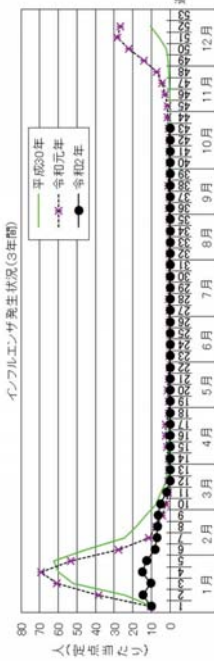
優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

#### 対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### インフルエンザ

令和2年11月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

川崎市保健所感染症対策課 044-200-2343  
川崎市健康安全研究所 044-276-8641



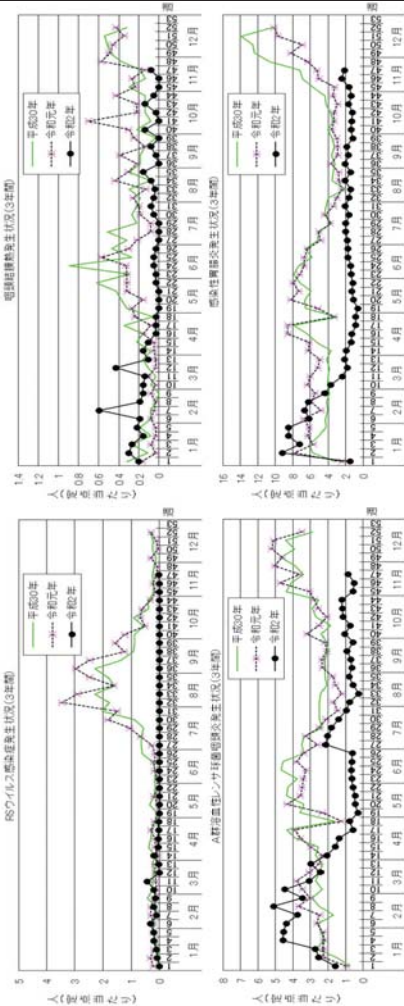
小児科病原体定点医療機関の皆様

優先採取疾患のお知らせ（令和2年12月）

小児科病原体定点対象疾患

今月の優先採取疾患は次のとおりです。

- ORSウイルス感染症
- O咽頭結膜熱
- OA群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- O感染性胃腸炎



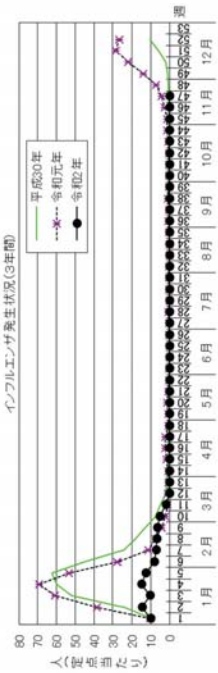
対象疾患

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

優先採取疾患を中心に、毎月概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体採取をお願いします。

インフルエンザ

令和2年12月1日現在、**非流行期**です。  
少なくとも**月1検体**の採取をお願いいたします。



検体採取後は、各保健所支所まで御連絡ください。

川崎市感染症情報センター事業報告書

2022年2月発行

川崎市健康安全研究所 感染症情報センター担当

〒210-0821

川崎市川崎区殿町 3-25-13 川崎生命科学・環境研究センター 2階

TEL 044-276-8641 FAX 044-288-2044

E-mail : [40eiken@city.kawasaki.jp](mailto:40eiken@city.kawasaki.jp)



